

令和4年度音更町総合計画推進委員会審議結果

1 第6期音更町総合計画重点施策及び第2期音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標1

【農業経営の安定化について】

- GPS情報の受信に支障を来すことや農作業機の大型化により、防風林の伐採が進んできており、個人で植えて育ててきた防風林については、伐採がかなり進んできている。春の暴風被害については把握しているところであり、町が実施している耕地防風林整備の補助制度も周知しながら、新たな防風林の整備の推進にも取り組む必要がある。

- 肥料や飼料などが高騰している。令和4年6月以降の肥料価格は7～8割程度上昇し、コロナ前と比較してほぼ倍ぐらいになっており、国と道が令和5年に補助金を支給する予定である。町も、令和4年9月の補正予算で肥料高騰対策の予算を措置し、反当たり1,000円を補助する制度を創設して、令和5年に支給予定である。この肥料価格の上昇は、令和4年秋以降に使う肥料に影響を与えるものであるが、多くの方が早めに購入するなどの手立てをされていると思うので、令和5年春以降の影響が大きくなることなども考慮しながら、引き続き農業者への支援を検討する必要がある。また、配合飼料については、価格補填という国の手立てがあり、急激な上昇があった場合には、その差額に対して補助される形にはなるが、こうした上昇が続くと、酪農家の手出しが増え続けてしまう状況にあるため、引き続き酪農家への支援を検討する必要がある。

- 飼料価格の高騰に対しては国の手立てがあるとのことであるが、酪農家では、配合飼料の量を減らしたり、輸入飼料の購入をやめるなど、大変厳しい状況が続いている。コロナ禍や物価の高騰、円安の影響などにより、農業所得の確保が大変厳しい状況にあるため、農業経営の安定化という施策においては、農業所得をいかに上げるかという観点も取り入れるべきではないか。

基本目標 2

【農商工観連携の推進について】

- 道の駅おとふけ なつぞらのふる里では、あらゆる災害を想定して防災機能を持たせており、停電に対しては、72時間、施設のほぼ全電力を賄うことができるLPG発電設備を備えている。このため、スマホの充電などへの対応も可能であるが、ポートの数が十分かどうか、常に検証しながら備蓄していく必要がある。
- 道の駅おとふけを観光で訪れる人の動線として、十勝川温泉に向かうメロディーライン上に郷土資料室があることから、途中で郷土資料室に寄り、音更や十勝川温泉の歴史などを学んでから十勝川温泉に行くような流れがつかれないか、検討していただきたい。
- 道の駅おとふけ なつぞらのふる里では、訪れた人に音更町のことを知ってもらえる仕掛けづくりにこだわっており、音更町の歴史に関する5枚のパネルや、どのような農産物が生産されているかなど基幹産業である農業に関する展示のほか、伊福部昭さんに関する展示もあるが、その中で図書館に伊福部昭資料室があり、更に詳しい展示があることを紹介している。音更町の歴史に関するコーナーの一角に、郷土資料室を紹介するパネルやリーフレットなどを配置することが可能か、生涯学習課とも協議をしながら検討する必要がある。
- ナショナルサイクルルートは、自転車で十勝全域を8の字に回る全長約400kmのルートとして国から指定を受けている。この中でサブルートが設定できることとなっており、現在、2つの道の駅をつなぐサブルートの設定を検討している。そのルートとしては、メロディーラインと重なる可能性が高いことから、サブルートに関する協議の中で、ビューポイントとして郷土資料室を設定するなど、郷土資料室を活かす方策なども視野に検討する必要がある。
- 道の駅ガーデンスパ十勝川温泉について、水道料金の検針票の裏にスパの割引券を掲載するなど、一生懸命利用促進に取り組んでいるものと理解している。
- ふるさと納税のさとふるのサイトを見ると音更町が消えてしまっている。ふるさと応援寄附金や寄附件数の増加に向け、ポータルサイトの効果的な活用をお願いしたい。
- ふるさと納税をした人への文書の送付は、メール送信など電子化にならないか。
- 郷土資料室を見学し音更の魅力を知った人が、ふるさと納税を活用してよつ葉のバターや

牛乳など、いろいろな物を買いたいと思った時に即座に購入できるような仕組みがあったら良いと思う。ポータルサイトを活用してふるさと納税をした人が十勝川温泉に安く泊まれるなどの工夫もできるのではないと思う。他自治体の先行事例なども参考にし、積極的に検討していただきたい。

- ふるさと納税は、町外の人が寄附をした際に返礼品をお渡しする仕組みであるが、町内の人
が寄附した際は返礼品はもらえない。返礼品までとは言わないが、道の駅おとふけ なつぞらの
ふるりのなつぞらエリアを整備した際に、クラウドファンディングで寄付した人が、壁面に掲
示する銘板に名前を彫って掲示できたように、寄附した町民に何かプラスになるものがあると
良いかと思うので検討いただきたい。

基本目標3

【公営住宅の整備、維持管理について】

- 公営住宅に空き室が多くあるようだが、空き室を子育て世帯向けに活用することができない
か。
- 公営住宅において、自治会には加入するが、町内会に加入しない入居者が増えている。民間
賃貸住宅家賃補助事業では、入居者の資格として、町内会に加入することを定めているが、公
営住宅についても、同様の要件を設定することはできないか。

【移住・定住の促進について】

- 結婚新生活支援事業に関しての意見として、最近ジェンダーの問題等いろいろあるが、同
性の婚姻とはならないにしろ共同生活をされる方が多くなってきており、札幌や帯広でもその
ような方の生活を認めていこうという動きであることを新聞や報道等で聞いている。同性カッ
プルが本町で共同生活をしたいと希望されるのであれば、支援をしていくような方向で検討し
ていただきたい。
- 結婚新生活支援事業の補助対象者の項目に、暴力団員又はこれらの者と密接に関与するもの
でないことと記載があるが、最近では反社会的勢力などの表現が多く暴力団員という表現はあ
まり使わないため、表記の変更について検討する必要がある。

基本目標 4

【国道、道道の整備促進について】

- 無電柱化が進み、町並みがきれいになっていく一方、華美な看板が目立つようにも感じられる。まちのにぎわいや活気につながっているという見方もあり、無電柱化の全区間が完了した際に、どういう意見が大勢を占めているかなどを見極めながら景観に関して検討する必要がある。

- 現在の除雪は、かき分け除雪の方法をとっているが、今後高齢化が進むにつれて、除雪スペースも少ない中、かき分け除雪後に自宅前に残った雪を除雪できるのか不安である。かき分け除雪を導入した経緯もあると思うが、現地に合った除雪の仕方について検討していただきたい。

2 その他の意見

- 総合計画推進管理評価調書を町民が見たときに、施策が達成してるのか、よりよいまちづくりに近づいているのかが、より分かるよう検証項目や基準について、次回改善を検討していただきたい。